

教育長メッセージ

子どもたちの「学びの保障」に向けて

約3ヶ月にも及ぶ臨時休業期間を終え、市内各校では6月より段階的な教育活動の再開を経て、各校には子どもたちの活気ある声が響いております。教職員も「新しい生活様式」を意識した教育活動を展開し、子どもたちの確かな学力の育成のために創意工夫を重ねているところです。徐々にではありますが、日常が取り戻されつつあると感じております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症に関する報道は毎日繰り返されており、まさに、社会全体が長期間にわたり、新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならない状況にもあると実感しているところです。

私は、このような状況におきましても、学校で学んだことは、子どもたちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながると思います。そして、これからの社会がどんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動できる力が、それぞれに思い描く幸せな人生を実現し、明るい未来を創っていくものと確信しております。

そこで、これからの授業を見通していく際、感染症対策を講じつつ、学校では学び合いの活動を通して、学習成果が上がるような学びを大事にすること、つまり、子どもたちへの「学びの保障」が特に重要です。

教育委員会といたしましては、子どもたちへの「学びの保障」を進める中で、未指導がないよう、3ヶ月間学習できなかった内容も含め、確実に習得させることができるよう、取り組んでまいります。

具体的には、授業の中で、学習内容を効果的に指導するため、特に、授業の中でなくては扱えない学習活動を重点化したり、家庭学習でも一人ひとりが取り組めるような課題を与えたりすることも大切であります。

そのために、きめ細かな指導をはじめ、文部科学省の提言するGIGAスクール構想を実現化し、子どもたちに1人1台の端末を今年度から順次、整備し、学校や家庭でもICTを活用した学習活動に取り組む計画です。

子どもたち誰一人取り残すことなく、学びを保障し、夢と志をもった心身共にたくましい子どもたちの育成に向け全力で取り組んでまいります。

今後も、ご家庭のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和2年7月17日

川越市教育委員会

教育長 新保正俊